

LANACHRYS 2B-PF

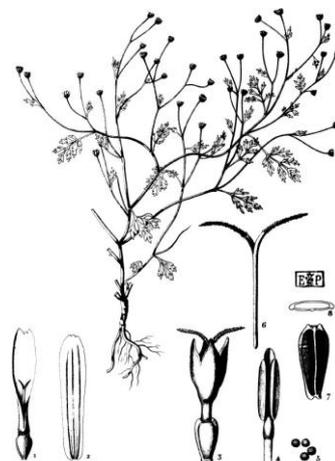
(ラナクリス 2B-PF)

紫外線を原因とする反復性の炎症を抑制し、顔や体の赤み、違和感を抑える

【特長】 古くから民間伝承治療薬とされたゴールデンカムミール由来希少なポリフェノール 7 種の複合作用により、反復刺激のもと GE2 の産生を抑制皮膚の赤み、痒みを鎮め、炎症が原因となって起こる紅斑を防ぐ

【コンセプト】

ラナクリス 2B-PF の主成分クリサンテルムインジクム (Chrysanthellum Indicum) は、南アメリカ(ペルーやボリビア)を原産地とし、亜熱帯山脈地方の原生林にて発見されてるキク科の高山植物です。その由来は、雨季の終わりの柔らかな太陽の恵みから金色の花びらを咲かせることから、ギリシャ語の「Chrosus(金の意)」と「Anthemis(カモミールの意)」より派生した言葉で、英語に直訳した”ゴールデンカムミール”という呼び方が、現地ではよく知られています。

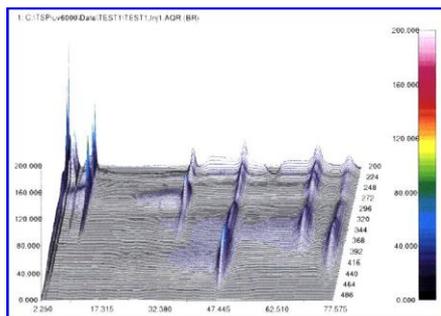


Chrysanthellum indicum
Dicotyledoneae - Compositae

19 世紀、民間伝承治療薬としてのクリサンテルムは、インディアンにより、アフリカに伝えられ、茎、葉、花とつぼみ全て肝臓・胆汁・心臓病の治療、数種の炎症鎮静作用、傷の治療薬などの幅広い用途で、使用されました。Washing Plant(洗浄植物)、Heart Plant(心の植物)、Leaf for the Heart(心の葉)とも呼ばれ、この植物はアフリカとラテンアメリカの一般治療薬となり、中国の薬局方にも見られるようになっています。

クリサンテルムインジクムエキスには、「クリサンテルリンA」「クリサンテルリンB」といった 2つのサポニン、更に5つの希少なポリフェノールを含んでおり、計 7つの希少な抗酸化成分の複合作用により、肌に様々な効果を示すことが長年にわたる研究により分かってきました。

1960 年以降、フランス・ボルドー地方の医師 Pierre Couderc によって、伝統的に使われてきた効能が、ポリフェノールの複合作用により、

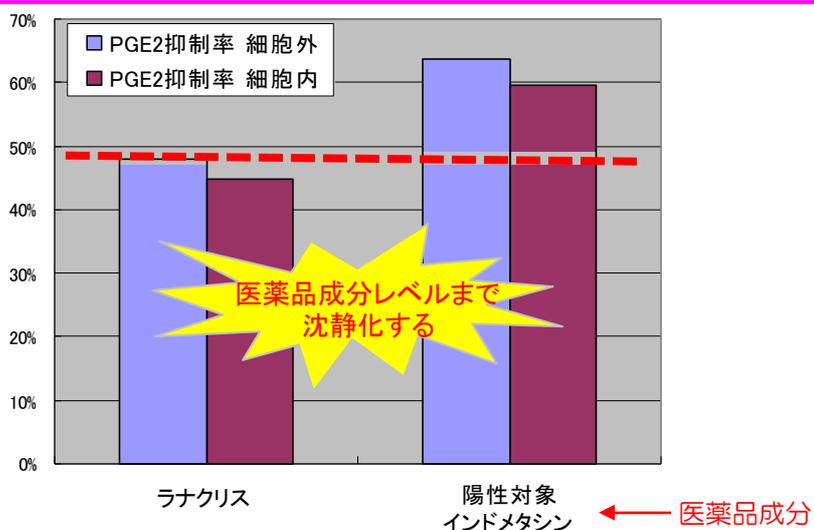


実際に特別な薬理学性質を示すことが証明され、それ以降も、様々な薬理学作用が発表されています。

UNIPEX の研究成果により、世界の化粧品業界においてもクリサンテルムに含まれる特徴的な7つの成分による複合効果により、紫外線(UVB)により皮膚に誘導される炎症をサイトカインレベルから、調整し、繰り返し起こる炎症を抑えることがわかってきました。

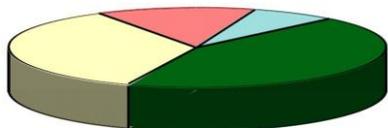
【効果・効能】

紫外線 UVB により引き起こされる反復性の炎症刺激の抑制



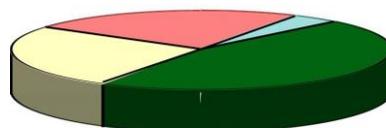
炎症を抑え、顔色、クマなどの紅斑へも強い効果

< 皮膚の赤色減退 >



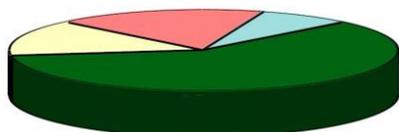
43%

< 顔色の改善 >

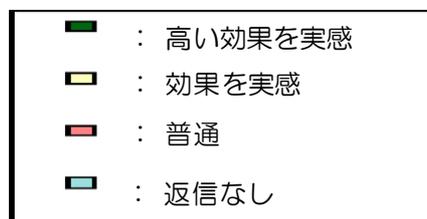


46%

< 鎮 静 >



60.5%



【商品情報】

商品名: Lanachrys2B-PF(ラナクリス 2B-PF)

表示名称: クリサンテルムインジクムエキス、水、BG

医薬部外品表示名称: お問い合わせください

推奨配合量: 0.05%~1%

製造元: Lucas Meyer Cosmetics

これは原材料に関する成分内容の説明、科学的データの紹介等をしているものであり、効能効果を説明、保証するものではありません。また無断使用、無断転載を禁止します。

2009/9/1